



熱心な指導で教え子を 全日本小中学校ダンスコンクールの舞台へ

国島和恵さん(34歳・荒木)

朝日新聞社が主催したりズムダンスの祭典「第3回全日本小中学校ダンスコンクール」。9月12日に開催されたこの大会に、市内の中学生が中心となって結成したダンスチーム「L・A・V」が出場し、全国の舞台で躍動しました。今月は、このチームを全国大会に導いた国島和恵さんを紹介しします。

「高校時代にダンスを始めましたが、運動が苦手です。踊ることができず、すぐに諦めました」と苦笑する国島さん。短大生のときは趣味としてダンススクールに通い、仲間と人前で披露することもありましたが、指導者になるとは夢にも思っていなかったそうです。転機が訪れたのは、23歳のときでした。働いていた銀行を退職し、単身でニューヨークへ。滞在中に現地のダンススクールで学んだり、路上パフォーマンスを行ったりすることで、自分が抱えていたダンスの価値観が180度変わったのです。帰国後、数々のショーやイベントに出演した



国島さんは、ダンスで生計を立てていくことを決意します。きっかけは、不登校児からもらった一通の手紙でした。「私の踊りを見て勇気ももらい、頑張るって学校に行ってみようと思う」と内容でした。ダンスを仕事にして、人に必要とされる存在でありたいと強く感じました」と語ります。そして、24歳のときに指導者に。現在は、市内外の5つの会場でダンスの楽しさを伝えるとともに、コンテストに出場する教え子に対して熱の入った指導を行っています。今回指導した「L・A・V」は、学校も学年もダンス歴も異なる子供たち11人が「全国大会で金賞を獲得したい」という思いで結成したチーム。国島さんはその気持ちに添えるため、1カ月もない映像審査までの時間を試行錯誤しながら、独創的な作品を作り上げていきました。8月の東日本大会を突破し全国大会に出場した子供たちは、代々木第二体育館の舞台で自分たちの作品「With: all 11人の絆」を全力で踊り切りました。結果は銀賞でしたが、「子供たちが家族に感謝し、仲間の大切さに気付いて成長する姿を見て、指導してきて本当によかったと思いました」と大会を振り返ります。指導者になって10年がたった今、国島さんは子供たちに目標に向かって努力することの大切さを教えています。「この仕事に誇りを持ち、多くの教え子たちに達成感を持たせたい」。熱い気持ちを胸に秘め、今日も子供たちにダンスの素晴らしさを伝えています。

はじめまして



平成27年1月生まれのお子さんを募集します

○11月2日(月)～30日(月)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318)
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、12月2日(水)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



★★★ 平成26年11月生まれのおともだち ★★★



金井 かな (しめい かな) 平成26年11月17日生まれ
父・耕造さん 母・明香さん
「笑顔いっぱい 元気に大きくなれ♡」



鈴木 かな (すずき かな) 平成26年11月13日生まれ
父・基史さん 母・未央さん
「この笑顔に癒されます♡」



長谷部 怜 (ながはべ れな) 平成26年11月10日生まれ
父・良平さん 母・麻美さん
「楽しく元気に 毎日過ごそーね♡」



一本柳 彩 (いちのみや さ) 平成26年11月27日生まれ
父・大城さん 母・遙さん
「笑顔でいっぱい遊ぼうね」



富田 瞬 (とみだ しゅん) 平成26年11月6日生まれ
父・剛さん 母・香奈さん
「笑顔ありがとう。 兄弟仲良し!」



栗田 心輝 (りきた しんき) 平成26年11月25日生まれ
父・将憲さん 母・美香さん
「たくましく育ててね! 三男坊!」

ぎょうだの会社を クロスアップ!!!

関東建設興業株式会社

高い技術力で国立競技場を解体



会社プロフィール

代表取締役社長 須永 力治
【事業内容】 建造物、各種構造物、橋梁、港湾施設解体工事請負
【住所】 榎上272

2020年に開催される東京オリンピック。現在、メインスタジアムである国立競技場に注目が集まっていますが、建設に先立ち、旧国立競技場南工区の解体を担当したのが関東建設興業株式会社です。
昭和36年に創業した同社は、発電所や工場、高層ビルなどさまざまな建築物の解体を行っています。「解体工事の良し悪しは、いかに近隣に迷惑を掛けないように騒音や粉じんを抑え、安全にできるかで判断されます。そのため、技術も開発してきたんですよ」と代表取締役社長の須永力治さんは語ります。中でも代表的なのが大型コンクリートを取り壊すために開発された「セリ矢式油圧大割破砕リキヤ」(以下「リキヤ」)。コアマンという機械で対象物に筒状の穴を開けた後、リキヤを差し込んで、開くことでヒビを入れ割っていきます。この作業を行うことで、効率的かつ静かにコンクリートを粉砕させることができるのです。他にも「ごつい鉄骨を切断するXカッター」などの機械を開発し、これらの技術を取業界全体に普及させるため、特許を取

らずに機械メーカーへ提供してきました。その結果、今では9割以上の業者が使うまでに。「新しいアタッチメント作業により、安全作業が可能になります」と須永さんは語ります。国立競技場の解体でも、通常の倍以上ある太い柱や梁の取り壊し作業にXカッターが活躍しました。
また、同社では現場を支える人材の育成にも積極的に取り組んでいます。社員だけでなく、現場に関わる全ての業者を招いて勉強会を開催。安全対策や技術指導、力学などの知識を深めることで、経験だけに頼らない技術力・計算力を備えた解体業界における「プロ中のプロ」を目指しているそうです。
このように同社は技術、人材の両面から高い品質の解体を追求してきました。須永さんはこれからの目標を「今後増えていくと思われる高層建築の解体に向けて、機械の組み合わせ方など効果的な工法を見つけていきたい」と語り、表情を引き締めます。国立競技場という大きな仕事をやり遂げ、これからも解体業界をリードする存在として活躍していくことでしょう。

私の作品

◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までに、はがき・封書で
広報広聴課へご応募ください。

- | | | | |
|-----------------|-----------|------------------|------------|
| 俳句 | 荒木 手島 一海 | 秋寂し村社の陰に忠魂碑 | 須加 天沼 広吉 |
| 出格子の古き茶屋街秋の加賀 | 持田 丸山 麟一 | 茂林寺の陶狸酔ふ良夜かな | 富士見町 鈴木スイ子 |
| ちちろ鳴く心の奥にある孤愁 | 荒木 藤田 明枝 | 芒波友の声する七瀬川 | 柵田町 財津ミチエ |
| 天空の深さ映して利根の秋 | 持田 斉藤 協二 | せせらぎの音に消されし蟬の声 | 谷郷 馬場 勇 |
| 台風の去りてひともと破れ芭蕉 | 桜町 吉岡 守子 | やぶさめの的の近くに赤とんぼ | 富士見町 森 節子 |
| 子は太鼓母は笛吹く秋まつり | 忍 丸山 連子 | 渡船呼ぶ旗に戯る赤とんぼ | 柵田町 春田 枕流 |
| 今の世にらみのきかぬ案山子かな | 長野 内山 計江 | 金箔の稲田に老いの影長し | 利田 秋山 節 |
| 併着て案山子も村の働き手 | 荒木 藤田 栄之 | ひとり居の夜をいやせりスパーマン | 城南 橋本千枝子 |
| 寺町の白壁つづく柿の秋 | 門井町 茂田 鳥山 | 子の演技身守る肩に赤とんぼ | 長野 野中せき子 |
| 沈黙の羅漢を蔽ふ落葉かな | 須加 須加かつ江 | 秋刀魚焼く匂いかすかに二階まで | 天満 青柳 欣吾 |
| 倒れてもなほ空を向く秋ざくら | | | (三沢 一水 監修) |

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。 特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当(内線318)までお寄せください。